

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	交流・環境		責任者	港営部 関連事業担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成		連絡先	052-654-7836
事務事業名	名古屋港ポートビルの管理・運営		連携先	
目的	対象(誰・何を)	広く一般の利用者	事業期間	平成18年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	海事に関する知識の普及により、海事思想の高揚を図ります。		
概要	名古屋港ポートビル及び南極観測船ふじの良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。		根拠法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例 名古屋港ポートビル条例
活動内容	指定管理者に対して、定例的な会議やモニタリングを通して、緊密な情報交換、必要な指導・助言を行っています。		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	27年度	28年度	29年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	186,574	101,401	86,727	124,901	事業費には、本組合が実施した施設の工事費を計上しています。
人件費	千円	4,281	4,300	4,411	4,331	
合計	千円	190,855	105,701	91,138	129,232	

3 CHECK(検証)

指標名		27年度	28年度	29年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
定例会議・モニタリング回数(回)	目標	24	24	24		24	毎年度、定例会12回、モニタリング12回することを想定し、目標設定	
	実績	24	24	24				
(単年度管理型)	事業進捗状況(29年度)		<input type="radio"/> 目標値を上回る <input checked="" type="radio"/> 目標値どおり <input type="radio"/> 目標値をやや下回る					
ニュースリリース数(件)	目標	17	17	17		17	イベントや企画等のニュースリリースを発行した件数。直近3か年の平均値	
	実績	14	12	13				
(単年度管理型)	事業進捗状況(29年度)		<input type="radio"/> 目標値を上回る <input checked="" type="radio"/> 目標値どおり <input type="radio"/> 目標値をやや下回る					
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	モニタリング回数は目標どおり実施しました。 ニュースリリース数は、目標値を下回りましたが、名古屋港開港110周年を記念するイベントなど、タイムリーな情報提供に努めました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	<input type="radio"/> 海事に関する知識の普及は、本組合として必要と考えます。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/> また、広く一般の利用を対象としており、ニーズに応えています。						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	<input type="radio"/> 入館者数は、名古屋港水族館の入館者数の増加と、平成29年3月の南極観測船ふじのリニューアルが好評を得て、前年度比122%となり、海事に関する施設の展示を通じた、海への親しみと知識の普及に貢献しています。						
	期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/> ニュースリリース数は、目標値を下回りましたが、タイムリーな情報提供に努めるなど、広報活動に鋭意取り組みました。						
効率性	最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/> 施設の維持補修は優先順位を定め、最小のコストで最大の効果が得られるよう努めています。						

4 ACTION(取組)

課題	30年度以降の取組
さらに多くの人々に利用してもらえるよう、話題提供等の利用促進の取組を強化する必要があります。	モニタリング等を強化し、施設の良好な維持管理に努めるとともに、積極的なニュースリリースを行ってタイムリーに情報提供するよう、指定管理者に対し、指導・助言を行います。